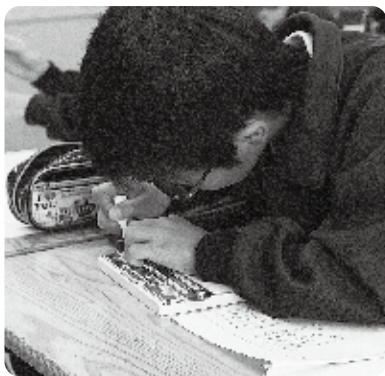


は
が

「間違ったところもあるけど
打てて嬉しかった!」

10月13日(木)波賀小学校で、点字学習がありました。
4年生32名が、大島千明さん(安賀)と点訳ボランティアの方から、点字のなりたちや、打ち方のルールなどを教わりました。大島さんは、視覚障がいのため、日常で点字を使用されています。

波賀小学校4年生が点字学習

「ポツポツが伝わってくる」



「ちゃんと打てたかな?」
大島さんに確認してもらいます

また、視覚障がいについて話を聞き、「見えんってどんな感じなんかなあ」と、目を閉じて廊下を歩いてみる児童の姿もありました。
「福祉体験を通して、相手の立場や気持ちを尊重できる人になってほしい。障がいのある人もない人も同じように共に暮らしていることを学ぶ機会になりました。」と担任の西林由紀先生。

波賀小学校では、4年生を「福祉の学年」と位置づけ、今後も福祉学習を計画されています。
(波賀支部 草田希望)

千種発!被災地支援

～宮城へ、和歌山へ～

今月は、東北地方や和歌山県へ個人やグループで被災地の支援活動に参加された千種町の皆さんを一部紹介します。

春名美奈子さん(鷹巣)は宮城県石巻市で漁業支援等の復興活動に参加されました。

「若い子のガンバリはすごいわ、普通に生活できる幸せをつくづく感じた」と、息子世代の若者に交じって活動をされた春名さん。

また千種高校ではソフト部と有志合わせて女子生徒12名が和歌山県新宮市熊野川町で災害ボランティア活動を行いました。

生徒からは「一日だけのボランティアでは役に立つと思えない」、「普通に暮らしていると分からないことが行ってみて初めて分かった」などの

声が聞かれました。

この先もまだまだ長い支援が必要です。私たちも何か自分にできることを探して被災地を応援したいものです。
(千種支部 小原志のぶ)



練習試合を終えたその足で現地へ
(千種高等学校の皆さんの活動 10/10)



個人ボランティアで活動された春名さん
(活動 9/28～10/6) ※中列右から2番目が春名さん